

「ペットのためのより良い世界」の実現のために、 「マース グローバル アドプション ウィークエンド」を展開 ～ 保護犬・保護猫の支援のための活動を実施 ～

マース ジャパン リミテッド（本社：東京都港区、社長：後藤 真一、以下、マース ジャパン）は、グローバル規模で10月3日～5日の「マース グローバル アドプション ウィークエンド」に合わせ、日本でも保護犬・保護猫をサポートする取り組みを実施しました。今年で2回目となる「マース グローバル アドプション ウィークエンド」は、保護犬・保護猫の譲渡活動の促進とともに、ペットが人々のウェルビーイングにもたらす好効果を広く伝えることを目的とし、世界20カ国以上の拠点（日本、米国、英国、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チェコ共和国、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、インド、メキシコ、スペイン、スイス、フィリピン、ポーランド、ルーマニア、タイ、ウクライナなど）でさまざまな取り組みが行われました。マースは、飼い主のいないペットの支援を実施することで、世界中の飼い主のいないペットを支援し、「ペットのためのより良い世界（A BETTER WORLD FOR PETS）」の実現を目指します。



マース ジャパンの取り組み

日本では約27,000匹の保護犬、約44,000匹の保護猫がシェルターで暮らしている^{*1}とのデータがありますが、マース ジャパンは、今回の「マース グローバル アドプション ウィークエンド」の取り組みとして、保護犬・保護猫シェルターや譲渡会でのボランティア活動、公益社団法人アニマル・ドネーション認定団体（猫の保護活動に取り組む10団体）と公益社団法人日本動物福祉協会へ、キャットフード「カルカン®」のパウチ製品合計243,680個の寄付、アソシエイト（従業員）のリサイクル品を通じた寄付により、飼い主のいないペットが新たな家族と出会うサポートをしています。

「保護犬・保護猫のシェルター、譲渡会でのボランティア活動」

マース ジャパンでは、公益社団法人アニマル・ドネーションの認定団体の保護犬・保護猫の2つのシェルターで、施設の清掃や保護犬・保護猫の飼養サポートなどのボランティア活動に7名のアソシエイトが従事しました。

また、埼玉県で定期的に行われている保護猫・保護犬と新しい家族の出会いをサポートする譲渡会のサポートを実施しました。ボランティアに参加した7人のアソシエイトは会場設営、保護猫の紹介、ニュートロTMのペットフードやグリニーズTMの歯みがきガムのサンプルを配布しました。



マース ジャパンは、ペット事業のビジョンとして掲げている「ペットといっしょに、もっと、『温もり』と『喜び』であふれている世界²⁾」を実現していくために、日本の飼い主のいないペットを支援する活動を推進していきます。

¹⁾「飼い主のいないペットの現状把握プロジェクト 2024 (State of Pet Homelessness Project 2024)」

²⁾世界とは、ペットとペアレックスだけの世界のみでなくペットを飼っていない方も尊重されている社会を目指します。

ペットとは、ここでは犬と猫を指します。

マース ジャパン リミテッドについて

マース ジャパン リミテッドは1975年に設立し、ペットフード事業とスナック菓子事業（スニッカーズ[®]やM&M'S[®]、BE-KIND[®]（ビーカインドTMなど））を展開しています。ペットフード事業では、「ペットのためのより良い世界（A BETTER WORLD FOR PETS）」の実現を目指し、カルカン/ウィスカス[®]、シーザー[®]、シーバ[®]、プロマネージTM、アイムスTM、ペディグリー[®]等のトップブランドや、ニュートロTM、グリニーズTMなどの主にペット専門店で扱われているブランドを展開しています。ホームページは、

<http://www.marsjapan.co.jp>

親会社のマース インコーポレイテッドは、世界70以上の国と地域で事業を展開。世界における年間総売上高は約500億米ドルで、その製品は世界中で販売されています。総従業員数は約15万名。ホームページは、<http://www.mars.com>

【本リリースに関する報道関係問い合わせ先】

マース ジャパン PR 事務局（PRAP JAPAN 内）・富谷・小泉

TEL：03-4580-9106 E-mail：mars@prap.co.jp